

く の しょう た ろう  
久野庄太郎強い向上心をもって自己研鑽に励む  
—文化営農の基礎・愛知用水を築く—

久野庄太郎 (1873 ~ 1954)

出典：『50年の歩み』(株)三祐コンサルティング

久野庄太郎は、1900(明治33)年、愛知県知多郡八幡村(現・知多市八幡町)の農家の長男として生まれた。八幡村立八幡小学校卒業後、農業に専念。農閑期の冬は正月前後、知多の伝統芸能、尾張漫才の出稼ぎに行った。

## ■ 生い立ち

1926(大正15)年、叔父・久野愼太郎の次女、はなと結婚。農業に専念する傍ら、強い向上心から農学、遺伝学、植物学など良師を求め学び自己研鑽に努めた。さらに知多郡農村研究員、米穀改良委員、拓殖研究員として、農村問題に取り組み、農業経営の改善、稲作の改良などに努力した。

1936(昭和11)年、愛知県知多郡八幡村販売購買組合を設立、地元特産馬鈴薯、ネギ類の出荷統制委員会を設立し委員長に就任。公的卸売市場設立の礎石を作り、一方特産地形成に努力、その後の愛知園芸農産物の出荷体制の基礎を築いた。また、1936(昭和11)

1948(昭和23)年、久野庄太郎と浜島辰雄の運命的な出会いから現地調査、地元、農林省や吉田首相を始め政治家などへの陳情を行った。

1945(昭和20)年、天皇陛下ご行幸のおり、安城農業試験場において御前講演をして、陛下より「このうえとも食料増産をしっかりと頼むように」とお言葉を賜った。



運命的な出会い、浜島(左)と久野(右)

出典：『愛知用水概説』

## ■ 愛知用水事業の推進

そして二人三脚のスタートから13年後の1961(昭和36)年9月に愛知用水は通水、完工した。

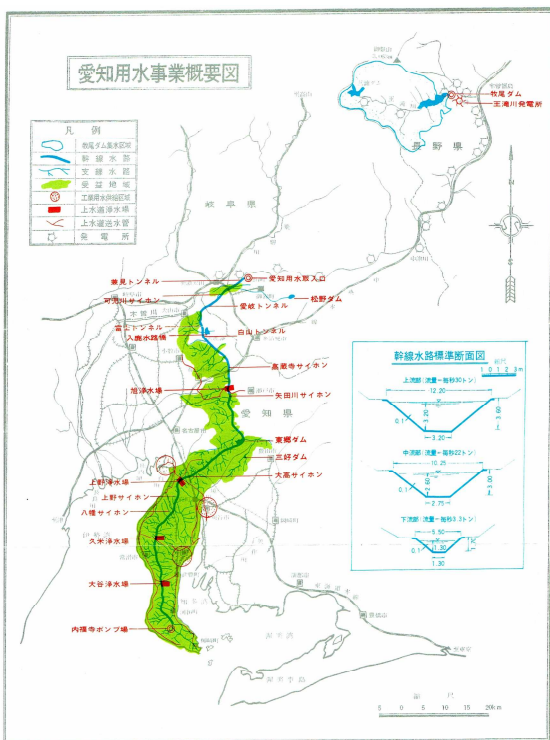
■ 愛知用水神社・愛知用水水利観音堂の建立

久野は工事の犠牲者となった56名の冥福を祈るとともに、用水の安全と平和な暮らしを祈念して、愛知用水の要所から原土を集め愛知用水水利観音像を180体建立した。

また、勝沼精藏名古屋大学総長の助言により、我が国初の献体運動を始め、1962(昭和37)年、「不老会」を創設した。

その後、知多市にある佐布里池湖畔に愛知用水神社、愛知用水水利観音堂を建立し、犠牲者を合祀した。

その後、知多市にある佐布里池湖畔に愛知用水神社、愛知用水水利観音堂を建立し、犠牲者を合祀した。



愛知用水事業概要図

出典：『愛知用水事業概要』1961



愛知用水神社、水利観音堂 (筆者撮影)

(寺沢安正)